

市の除排雪の取り組みに理解が深まる!

## 除雪の電話説明体験

学年・単元 4年: [社会科] 第7単元「くらしを守る」→小単元3「雪とくらす」

学習効果  
UP  
ポイント

- 札幌市の除排雪システムのすごさを知ってから体験するとより苦労を実感できる!
- 学習後は、札幌市の除雪が市民にも認められるにはどうすればよいかを考える!
- 地域の一員として、できることに進んで取り組んでいくことの大切さに目が向く単元に!



### 1 背景と取組のねらい

札幌市民にとって毎年の雪の処理は最大の関心事である。市政において除雪は「力を入れてほしい施策」の第1位であり、毎年多くの要望が寄せられている。この体験授業では、除雪に関するさまざまな要望の中から代表的なものをテーマにして、市民側と行政側のやり取りを模擬の電話機を用いて実践する。



- ①札幌市に寄せられる除雪に関するさまざまな要望内容を知ることにより、児童に冬の生活における除雪の重要性を感じてもらう
- ②電話説明を実際に体験することで、除雪に携わる人たちの大変さや除雪の実情に対する問題意識を持ってもらうとともに、冬のルール・マナーを守ることの大切さを理解してもらい、雪との共生及び地域貢献についての意識付けにつなげる

### 2 実施内容

天候や季節に関係なく実施可能!

#### (1) 準備するもの



模擬電話



ゆきだるマンサンバイザー



除雪説明体験シート

#### (2) 実施の流れ

生徒同士がペアで行うため、事前にイス、テーブルを準備し、向かい合って座るように配置する。模擬電話はペア1組に対して1つ配置し、ゆきだるマンサンバイザー、除雪説明体験シートは全員に配布する。

01

- ・札幌市の除雪のルールを理解してもらうことの重要性やこの体験授業で学んでほしいことを伝える。
- ・除雪説明体験の流れを説明する。
- ・職員（もしくは委託業者）2名でアドリブも含めて実演し、どのような流れでやり取りを行ったかを説明した上で体験授業をスタートする。



授業風景

02

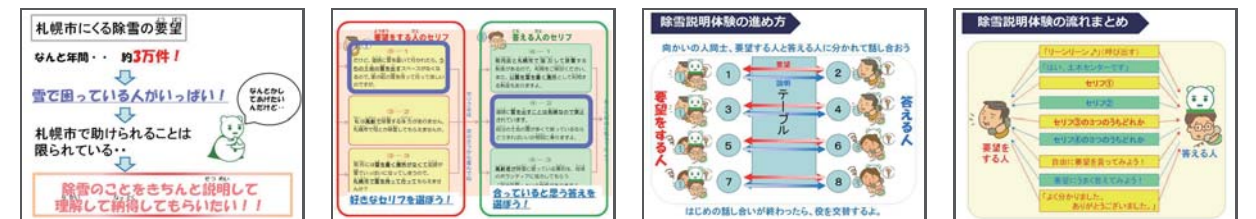
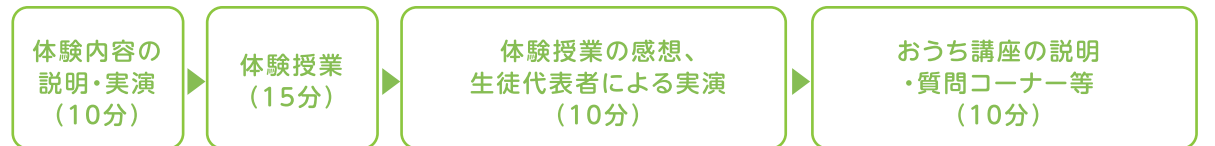
説明体験のテーマは最も要望の多い

「家の前に雪を置いていかないでほしい」・「道路の雪を左右等しく除雪してほしい」

- ・一つのテーマで要望をする人と答える人の約を終えたら、もう一つのテーマに進むという流れで行う。
- ・答える人（土木センター役）にはゆきだるマンサンバイザーをつけてもらう。
- ・各テーマのセリフには定型文を用意。一部選択式にすることで児童が自分で考えて適切な説明ができるようにしている。
- ・定型文のやり取り後はアドリブとすることで、児童がこれまで学んだ知識や経験を活かした自由な発想での受け答えが望ましい。



●時間配分(参考): 45分



電話説明体験 (説明要資料)

目的

土木センター職員の苦労、電話対応の難しさ、除雪の大変さについて理解を深める。除雪の重要性、かける労力の大きさ、除雪の課題などについて学習する。

ポイント

- 模擬電話を使用するため、電話の段取り等の運搬や準備が必要。
- 学年のレベルや児童のレベルによって差が出やすいため、うまくできていない児童に対するフォローアップが必要。